



理事長就任のご挨拶

くまもと県北病院機構



くまもと県北病院
機構理事長
山下 康行

平素より、肥後医育振興会の先生方には大変お世話になっております。昨年平成三十一年三月付けで地方独立行政法人の理事長を拝命いたしました。私の日本医学放射線学会の会長の仕事などの関係で、昨年五月一杯は熊本大学の放射線診断分野教授との兼務でしたが、六月より専任となっております。この度はこのような執筆の機会を与えていただきましたことに大変感謝申し上げます。

くまもと県北病院機構は玉名市並びに玉東町立の公立病院である公立玉名中央病院と医師会立の玉名地域保健医療センターという母体の全く異なった病院を統合するために平成二十九年十月に設置された地方独立行政法人です。

公立玉名中央病院は玉名地域の中央核病院です。現在の病床数は三〇二床で（うち回復期リハビリテーション病床四〇床）、高度医療から地域

連携まで力を入れていきます。また熊本大学病院地域医療総合診療実践学寄附講座の玉名教育拠点も設置された教育病院でもあります。基幹型研修を行う傍ら、熊本大学の協力型病院として多くの研修医を受け入れております。救急医療にも力を入れ、二十四時間体制で有明地区の救急医療を支えております。平成二十九年度は、一五、九一四名の救急受診者があり、二、五八三台の救急車を受け入れております。また災害拠点病院として現在二チームのDMATを組織し、他の地区への救援など活発に活動しています。さらに検診センターも併設され、住民の予防医療にも力を入れております。

一方、玉名地域保健医療センターは玉名郡市医師会立の開放型病院で、昭和六十年の五月に開院しております。その後、在宅介護支援センターなども併設され、地域に密着した医療を行ってきました。一五〇床全てのベッドが開放型病床で、急性期医療を行う一般病棟（五三床）、地域包括ケア病棟（四七床）、療養病棟（五〇床）からなります。

現在では二つの病院は別途運営し



ておりますが、経営ならびに人事的には統合されております。二〇二一年の三月には二つの病院が合併してくまもと県北病院として四〇二床（一般病床三二二床、回復期リハビリテーション病床四五床、地域包括ケア病棟四五床）、二七診療科を有する県北の基幹病院、災害拠点病院機能を有する総合病院として新幹線の新玉名駅前が開院予定です。屋上にはヘリポートも設置され、新たに眼科、耳鼻咽喉科、歯科口腔外科なども開設予定です。

二病院は昨年四月より経営統合され、来年度の新病院開院に向かって全職員まつしぐらに突き進んでおりますが、昨年度は公立玉名中央病院で様々な不祥事が発生しました。外部から来た目で改めて、様々なルールを見直し、新病院へ向けての新しい体制の構築と併せてガバナンスやコンプライアンスを見直しております。特に今後地域医療構想の下、医師会、歯科医師会、薬剤師会を初め、様々な介護福祉施設の皆様と連携し、地域住民の健康を多面的に支えることが地域の病院の使命と考えております。

私自身、大学生活が長く、地域医療に関しては十分な知識や経験もないため、毎日が勉強の日々でもあります。高齢化社会において地域医療の重要性はますます高くなりますので、行政、介護施設などとの連携も不可欠です。新病院におきましては高度医療からプライマリケア、地域医療まで学べる病院にできたらと考えておりますので、何卒ご支援の程、よろしくお願い申し上げます。